

第1回～第5回グリ下会議 報告

令和6年5月29日
グリ下会議座長 稲嶺 一夫(中央区長)

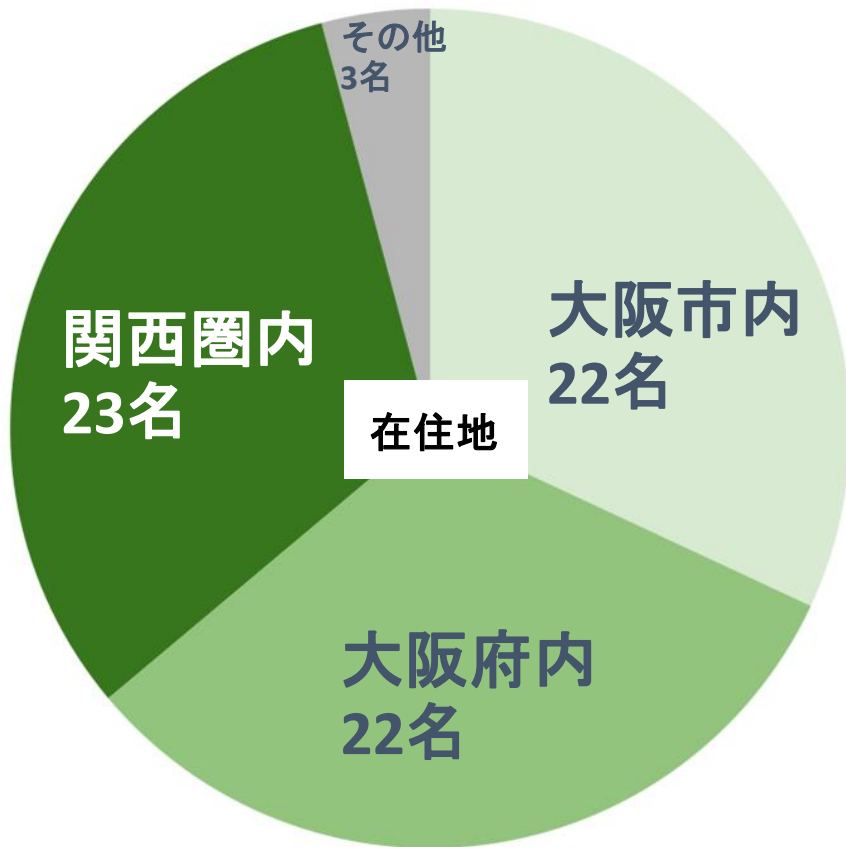
1. 令和5年以降のグリ下の状況について

- ・とんぼりリバーウォークでは、観光客が戻ってきており人が非常に多く、以前のように大人数のこども・若者が容易に集まれる環境ではなくなっているため、集まり自体は減少している
防犯カメラの設置や照明の照度向上により、戎橋下での集まりも減少傾向にある
- ・一方で、OD(オーバードーズ、過剰服薬)による搬送、性犯罪の被害者や逮捕者の発生、一時保護される児童等、問題の発生は依然として続いている
- ・(特非)D×Pの運営するナイトユースセンターの開設日には、多数のこども・若者が来所している
 - 居場所を求めるこども・若者のニーズ、支援の必要性は継続している
 - SNS等によるつながり、ミナミ全体への広がり等、実態の把握はより困難になっている
 - 継続的・組織的な支援活動を実施している民間団体は(特非)D×P(今井構成員・野津構成員)、(一社)ひとりぼっちにさせへんプロジェクト(田村構成員)のみで、民間による支援の資源の不足が明らかである

夜のユースセンターに集まるのは、どんな若者たちか①



大阪有数の繁華街である道頓堀のグリコの看板下(通称グリ下)には、虐待やDVなどで家庭に居場所がなく孤立する若者がSNSを介してつながり集まります。DxPでは2023年6月より「夜のユースセンター」を16時～22時で開所し、述べ3000人以上が利用してきました。今回は、「夜のユースセンター」の9カ月間の個別面談の利用者データを分析し、若者たちの背景を調べました(n=70)。

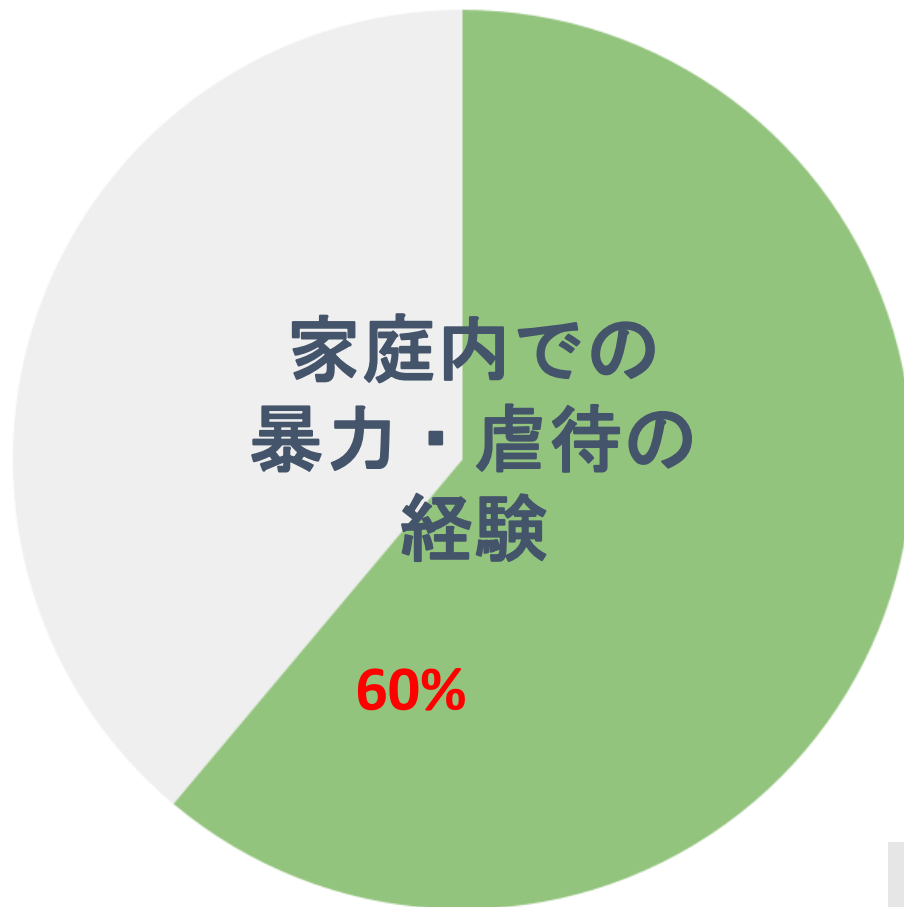


- 特徴は、大阪市内だけでなく、市外の大阪府内の若者、また府外の近隣県などからも若者が集まっていることです。
- 平均年齢は**18.1歳**。最小年齢13歳、最高年齢25歳と、小学生～成人までの年齢層の子ども・若者がいます。

※男女比は、本分析では男性20名、女性50名となりました。これは、女性のほうが犯罪被害等の困りごとに逢いやすく、個別面談を受けざるを得ない状況に置かれやすいためと想定されます。

※本分析はn数が少ないため、あくまで参考値となります。実利用者数は764名おり、全体の9%となります。2024年度内に、再度利用者アンケート調査を、より規模を広げて行う予定です。

夜のユースセンターに集まるのは、どんな若者たちか②



ユースセンターや繁華街に集まる若者がトラブルに巻き込まれてしまうことについて「自業自得では」という言葉が向けられることがあります。しかし個別面談のデータを分析したところ、家庭内での暴力や虐待を受けたことがあるという発言があった方が60%となりました。

繁華街に集まる背景には、家が安心安全な居場所ではなく、近い境遇の同年代が多数いる場所に居場所や繋がりを求めているためではないかと考えます。

それ以外にも、医療的なケアが必要な方や経済的困窮状態にある方も多くおり「福祉（児童福祉、居住支援、生活困窮支援）」「医療（精神科・婦人科等）」「法律（債務処理や紛争解決）」などの複数の分野で連携してサポートすることが求められます。

※本分析はn数が少ないため、あくまで参考値となります。実利用者数は764名おり、全体の9%となります。2024年度内に再度利用者アンケート調査をより規模を広げて行う予定です。

また「虐待経験63%」のような見出しで記事にできるような数値ではありません。あくまで当事者の背景に想いを寄せていただくための参考値としてお受け取りください。

2. グリ下会議の実施がもたらした成果

(1)官民連携による支援【具体事例】

- ・自立相談支援機関(くらしサポート中央)、居住支援法人等との連携により、住まいがない状態からアパートの契約に至り生活保護を受給
- ・こども相談センターと連携した一時保護
- ・シェルター(一時生活支援施設)入所支援

(2)民民連携による支援【具体事例】

- ・民間シェルターへの入所支援
- ・住み込み就労先の紹介

(3)その他

- ・認定就労訓練事業所への登録(中井構成員・千房千日前本店)
(就労に課題を抱える者に対し、雇用主と自立相談支援機関が連携して支援するしくみ)

3. 今後のグリ下会議の方向性

(1)さらなる連携の推進

- ・ナイトユースセンターを活用した行政機関による支援
 - 出張相談・オンライン相談等
- ・中央区以外(大阪市内他区)への支援ネットワークの広がりを構築
 - 生活困窮者自立支援制度・子育て支援等の担当者連絡会における「グリ下の取組」の周知

(2)必要な支援の検討

- ・民間支援団体による活動の安定的な財源確保
- ・シェルター機能の必要性和あり方
- ・行政による取組の強化
 - 必要な支援が提供される継続的体制を整備し、万博を見据え安全・安心なミナミ・グリ下を目指す